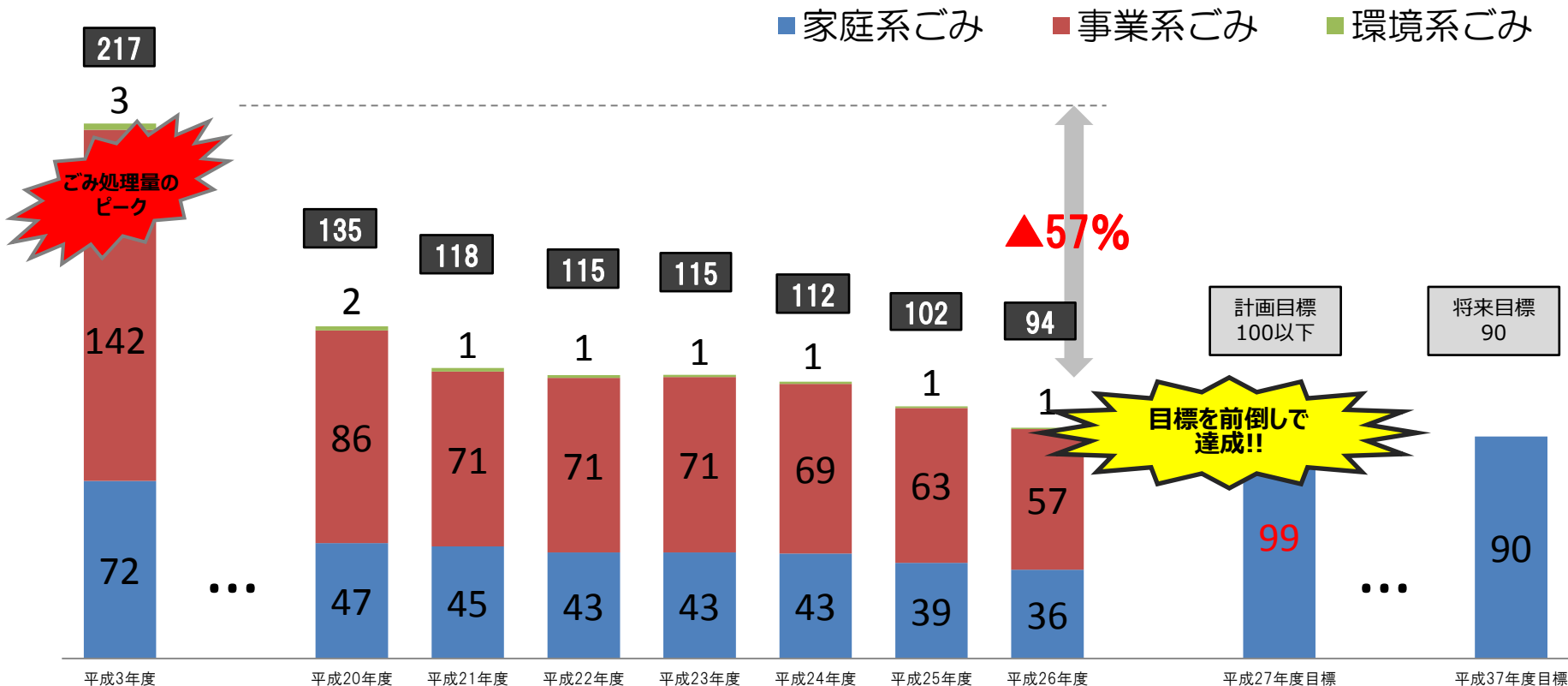


事業系廃棄物の排出実態からみる ごみ減量の取り組みについて

1. 平成26年度のごみ処理量等について

▶ 大阪市のごみ処理量の推移

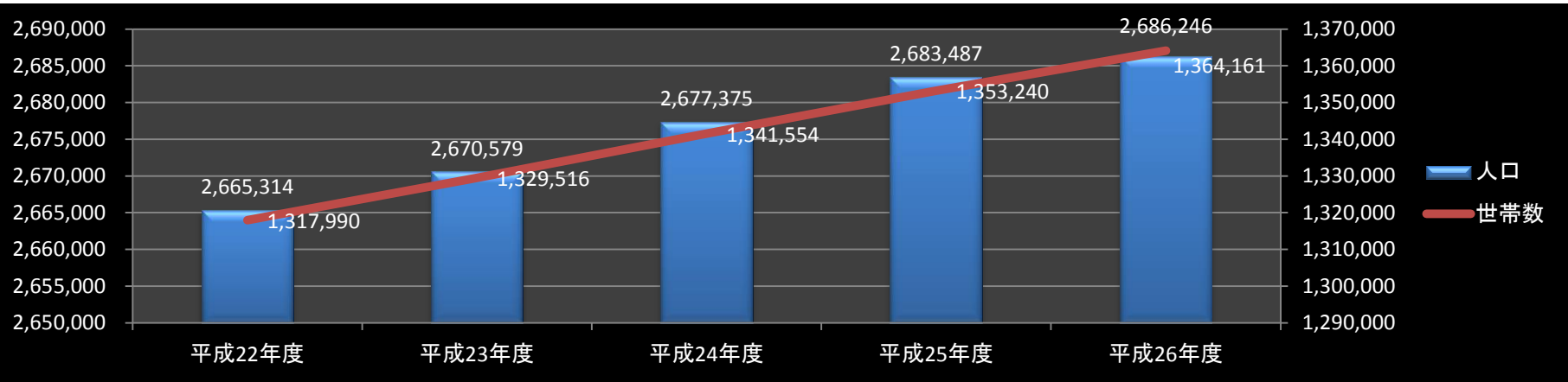
平成25年10月からの古紙・衣類分別収集の全市実施、資源化可能な紙類の焼却工場への搬入禁止等により、ごみ処理量は大きく減少し、平成27年度100万トン以下とする減量目標は、平成26年度94万トンとなり、**前倒して達成**いたしました。



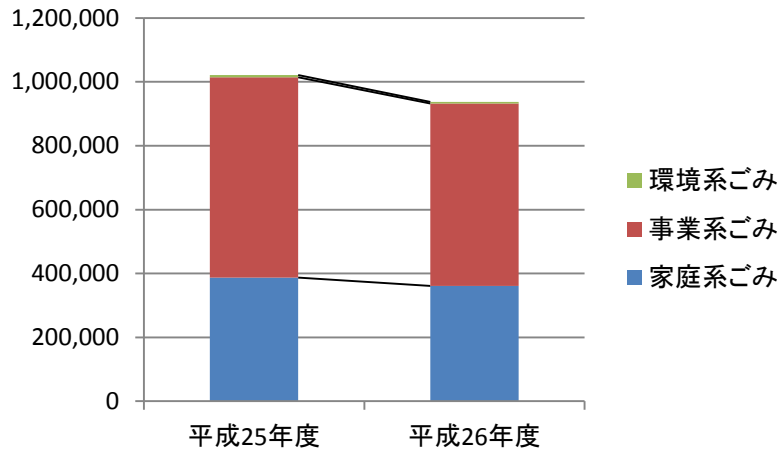
※各数値の小数点以下は四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

(単位：万トン)²

▶ 大阪市の人口・世帯数



▶ ごみ処理量



(単位:トン)

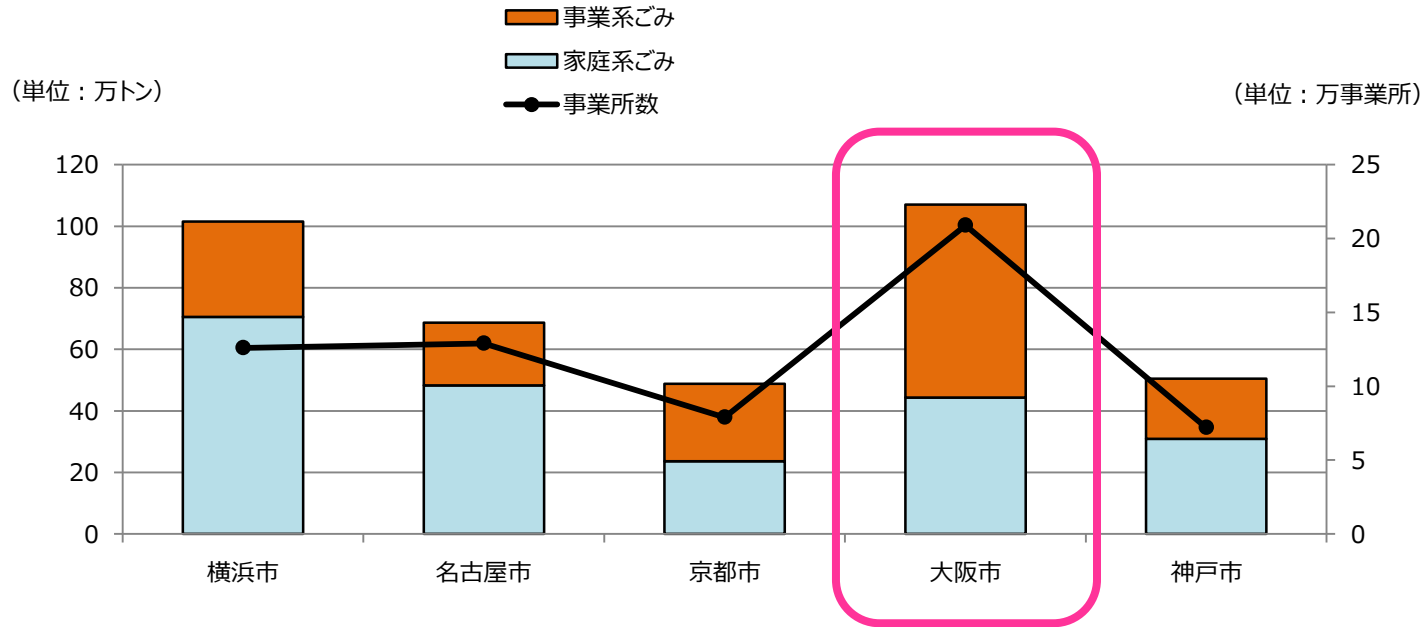
	ごみ処理量実績		差引	対25年度比
	平成25年度	平成26年度		
家庭系ごみ	387,601	361,095	▲ 26,506	▲6.84%
事業系ごみ	626,591	570,747	▲ 55,844	▲8.91%
環境系ごみ	6,586	5,036	▲ 1,550	▲23.53%
合計	1,020,778	936,878	▲ 83,900	▲8.22%

▶ 大阪市の景気動向 (概況)

平成25年度	4-6月期	景気は持ち直し基調を継続し、金融危機による低迷期から脱却の動き
	7-9月期	景気は金融危機による低迷期から脱却し、回復の動き
	10-12月期	年末需要などにより景気は順調に回復
	1-3月期	一部に年末需要の反動があるものの、景気は回復基調を継続
平成26年度	4-6月期	景気は消費増税の影響で一時的に落ち込むも、底流は回復基調を継続
	7-9月期	製造業で弱めの動きが続くも、景気は前期の落ち込みから緩やかな持ち直し
	10-12月期	年末需要などにより、景気は持ち直しを継続
	1-3月期	年末需要の反動が例年より小幅となり、景気は回復基調を継続

出典：大阪市経済戦略局「大阪市景気観測調査結果」

▶ 主な政令指定都市のごみ収集量の状況



※ごみ収集量：市の処理施設等へ搬入されたごみ量（資源集団回収量や店頭回収量は含まない。）

- 大阪市の事業所数 20.9万事業所（2位名古屋市12.9万事業所）
- 大阪市の昼間人口 354万人（2位横浜市 338万人）
- 昼夜間人口比率 132.8%（2位名古屋市 113.5%）
- 大阪市の事業系ごみの割合 58.6%（他の政令指定都市平均 35.9%）

出典

ごみ収集量：平成25年度一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）

事業所数：平成24年経済センサス-活動調査（総務省）

人口：平成22年国勢調査（総務省）

2. 業種・業態別 事業系一般廃棄物排出実態調査について

●調査目的

新たな減量目標の達成に向けては、ごみ処理量の約6割を占める事業系一般廃棄物の減量に、より一層取り組んでいくことが必要であることから、業種・業態別のごみ組成の特性等を詳細に把握することを目的として、事業系一般廃棄物排出実態調査を実施している。

●調査の概要

(1) 調査対象（398事業所を抽出）

- ・ 大阪市の処理施設で処理している許可業者が収集する事業所排出ごみ
※特定建築物から排出されたごみ・マンション・アパート・寮から排出されたごみは除く。
※資源化物として分別され本市焼却工場に搬入されないものは除く。

(2) 調査内容

- ① 排出されたごみのサンプリング・分類・測定調査
- ② 事業規模、分別リサイクル等の概況把握のためのアンケート調査
→排出月量5t未満の排出事業所366件へ発送

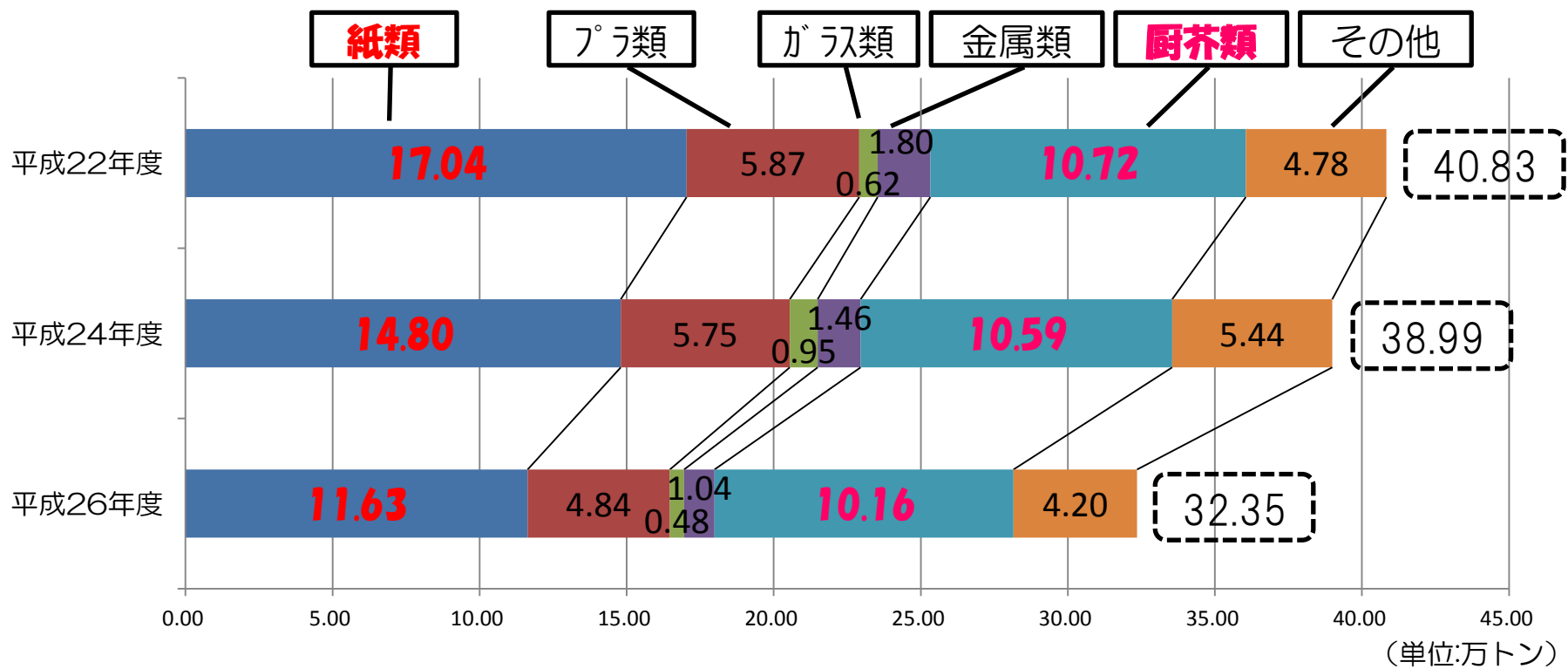
(3) 調査時期

- ① サンプリング・分類・測定 : 平成27年1月21日～2月25日
- ② アンケート調査 : 平成27年3月

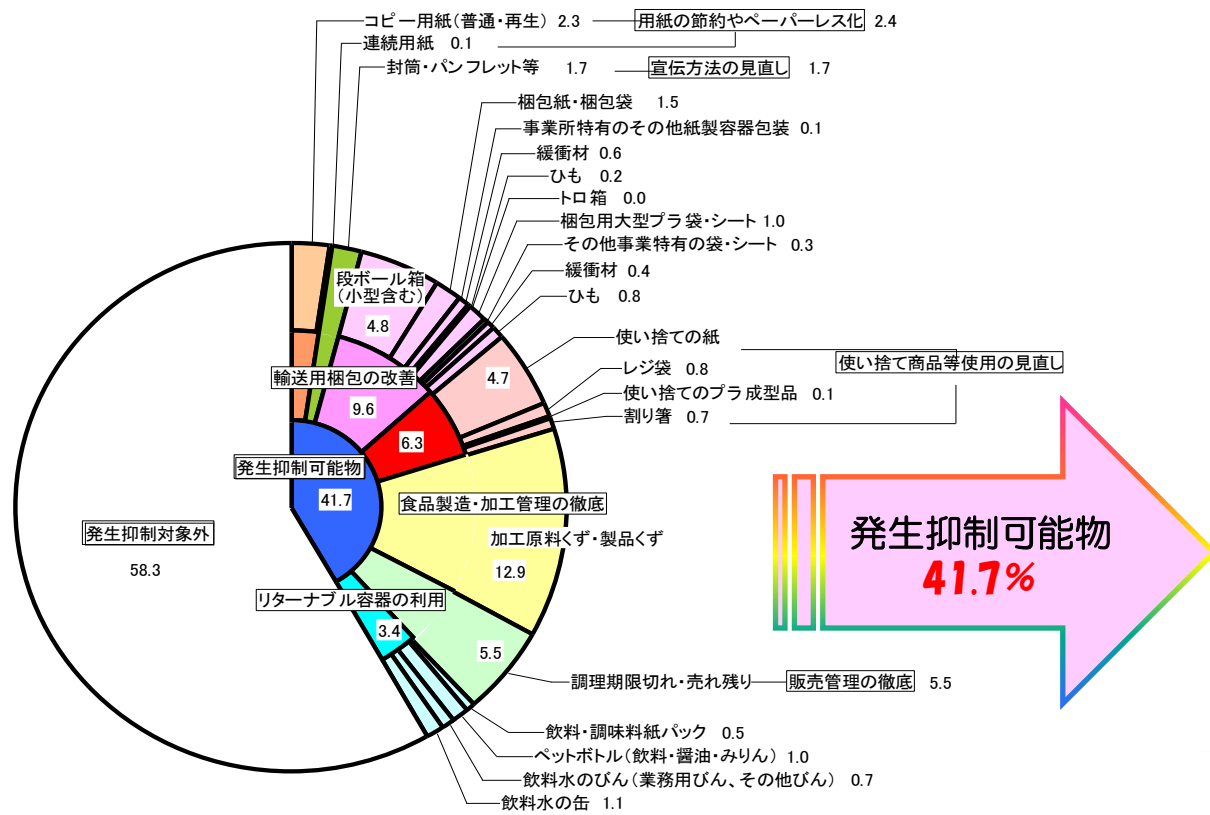
▶ごみ組成量の推移

	平成22年度		平成24年度		平成26年度	
	組成率 (%)	組成量 (t)	組成率 (%)	組成量 (t)	組成率 (%)	組成量 (t)
紙類	41.74	170,445	37.95	147,982	35.96	116,319
プラ類	14.37	58,680	14.75	57,516	14.95	48,358
ガラス類	1.51	6,166	2.44	9,515	1.49	4,820
金属類	4.41	18,008	3.74	14,584	3.20	10,351
厨芥類	26.26	107,233	27.17	105,947	31.41	101,601
その他	11.71	47,818	13.95	54,397	12.99	42,018
合計	100.00	408,350	100.00	389,940	100.00	323,466

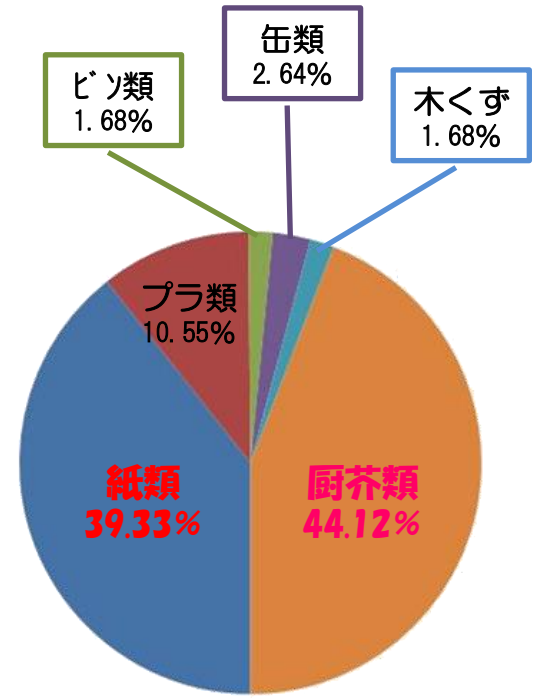
※特定建築物、アパート・マンション等は除く



発生抑制可能物等の排出状況



発生抑制可能物
41.7%

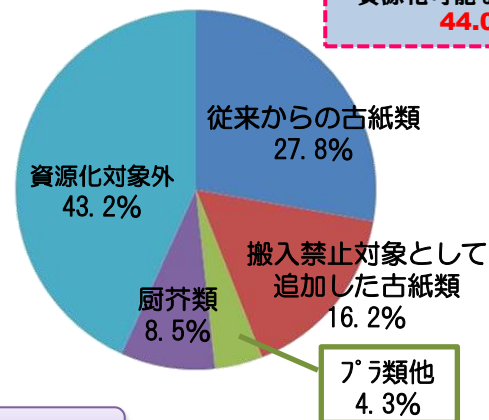


発生抑制の行動39	品目	
用紙節約やペーパーレス化	紙類	コピー紙（普通・再生）、連続用紙
宣伝方法の見直し	紙類	封筒・パンフレット等
輸送用梱包の改善	紙類	段ボール箱（小型含む）、ボール製大型紙箱、梱包紙・梱包袋、緩衝材、ひも、事業所特有のその他紙製容器包装
	プラスチック類	トロ箱、梱包用大型プラ袋・シート、その他事業所特有の袋・シート、緩衝材、ひも
使い捨て商品等使用の見直し	紙類	使い捨ての紙（ティッシュペーパー、ペーパータオル、キッチンペーパー等）
	プラスチック類	レジ袋、使い捨てのプラ成型品
	木片類	割り箸
食品製造・加工管理の徹底	厨芥類	加工原料くず・製品くず
販売管理の徹底	厨芥類	調理期間切れ・売れ残りの食料品
リターナブル容器の利用	紙類	飲料・調味料紙パック
	プラスチック類	ペットボトル（飲料・醤油・みりん）
	びん類（ガラス類）	飲料水のびん（業務用びん、その他びん）
	缶類（金属類）	飲料水の缶

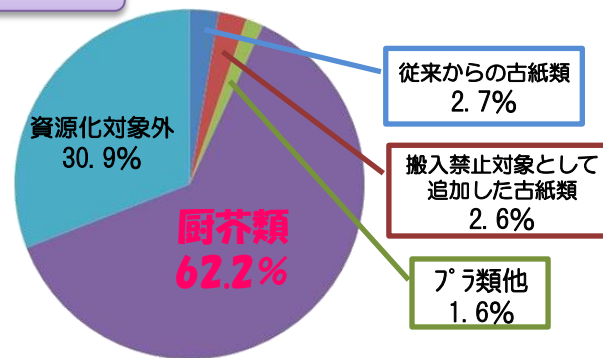
資源化可能物等の排出状況

事務所ビル

資源化可能な古紙類
44.0%



飲食店

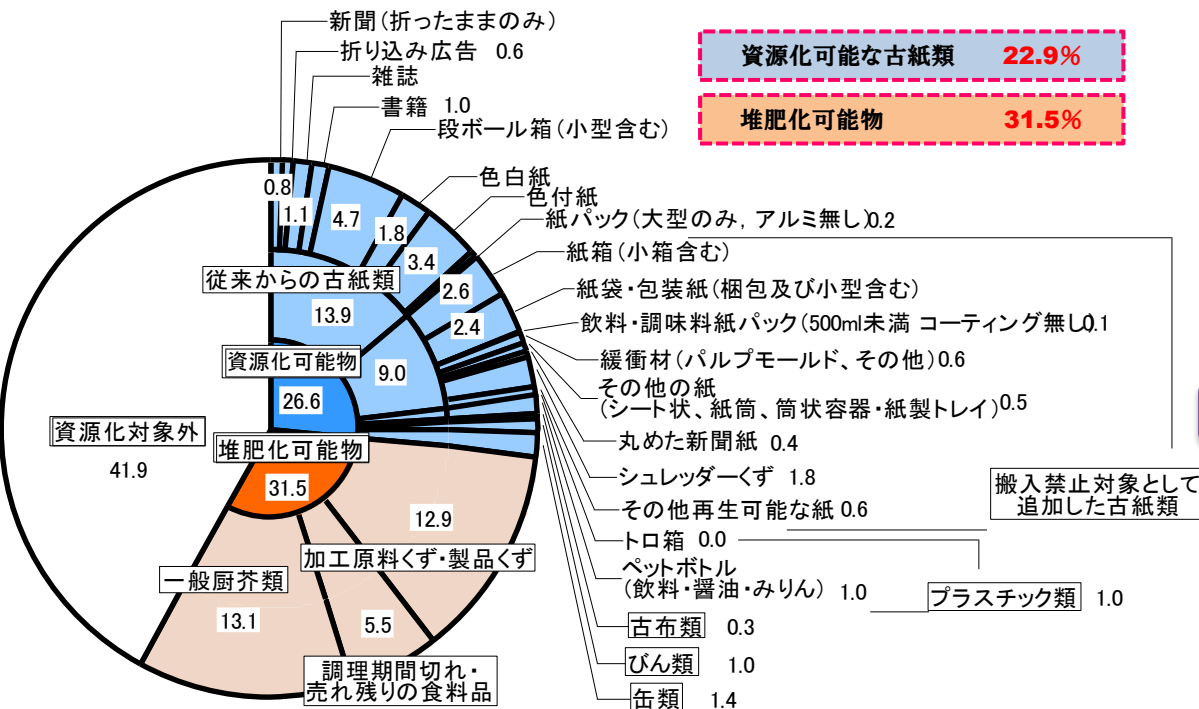


資源化可能な古紙類 22.9%

堆肥化可能物 31.5%

搬入禁止対象として追加した古紙類

プラスチック類 1.0



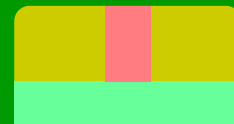
成分		品目	
資源化可能物	紙類	従来からの古紙類	新聞紙(折ったままのみ)、折り込み広告、雑誌・週刊誌、書籍、段ボール(小型含む)、大型紙箱、色白紙、色付紙、印刷残紙・出版残紙、紙バック(大型のみ、アルミコーティング無し)
		搬入禁止対象として追加した古紙類	紙箱(小箱含む)、紙袋・包装紙(梱包用、小さな包み紙・紙袋も含む)、小型飲料・調味料紙パック(アルミコーティング無し)、緩衝材(パルプモールド等)、その他容器包装材(紙筒等)、丸めた新聞紙(他に再利用した新聞紙)、シュレッダーくず、その他再生可能な紙(ノート類、A5以上の大きさの紙)
	プラスチック類	トロ箱、ペットボトル(飲料・醤油・みりん)(業務用含む)	
	繊維類	ウエスに再利用可能な繊維類	
	びん類(ガラス類)	飲料水のびん、食品・調味料のびん(業務用含む)	
	缶類(金属類)	飲料水の缶、食品・調味料の缶(業務用含む)	
堆肥化可能物	加工原料くず・製品くず、調理期間切れ・売れ残りの食料品、一般厨芥類 ※流出水分を含む		

【組成分析からみえるごみ減量に向けた今後の課題】

- 紙類の割合が徐々に減少しているが、いまだ、**多くの資源化可能な紙類が焼却処分**されている。
- 全体のごみ量は、減少しているにもかかわらず、**厨芥類**については、**焼却処分した量に変化がなく減量が進んでいない**。
- 発生抑制可能物が、4割程度焼却処分されている。
- 「**輸送用梱包の改善**」により約10%「**使い捨て商品等の使用の見直し**」により約6%のごみ減量が見込める。
- **堆肥化可能物**（厨芥類／食べ残し／調理期間切れの食品等）が、**焼却処分されるごみの約30%**を占めている。

ごみ減量に向けて、第一歩・もう一歩

- 「もったいない意識」を醸造
 - ・・・無駄を省けば、コスト削減、ごみも減量！！
- 「食べきり」行動の促進
 - ・・・食品ロスがなくなれば、ごみも減量！！
 - ・・・宴会の始め30分、終わり10分、自席でお料理を楽しみませんか。
- ペットボトル等使い捨て容器の削減
 - ・・・マイボトル・マイカップの推進
 - ・・・会議等で湯茶を提供する時は、湯のみ等を活用し、使い捨て容器のままでの配布を避ける
- 集客イベントを企画する際は、2R重視で
 - ・・・後片付けも企画のうち。綿密な企画でロスを削減、発生抑制
リターナブルボトル・リユース食器の使用など、再利用の検討
来場者に「食べきり」の啓発
- 社員食堂等の厨芥ごみリサイクルの検討・食べきりサイズの検討
- 食品残渣や剪定枝など新たなリサイクル品目の拡大検討 などなど



☆☆お役立ち☆☆ごみ減量特設ホームページ☆☆

大阪市ごみ減量・リサイクル情報サイト

“事業系ごみってなに？” から “再生資源事業者のご紹介” まで

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu150/genryou/index.html>

大阪市 ごみ減量 リサイクル

検索

